

令和7年第9回教育委員会会議録

日 時 令和7年7月24日（木）午後2時30分 開議
場 所 尾道市役所4階 委員会室
署名委員 村上正則委員

午後2時30分 開会

○宮本教育長 定刻になりましたので、ただいまから第9回教育委員会定例会を開きます。

本日の会議日程は、お手元に印刷配付のとおりです。

本日の会議録署名委員は、村上正則委員を指名いたします。

定例会に先立ちまして、尾道市教育委員会委員として、濱本かよみ氏が6月29日付で就任されましたので、御挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

○濱本委員 それでは失礼いたします。6月の議会で承認をいただきまして、尾道市教育委員会委員を拝命いたしました。微力ではございますが、一生懸命、尾道の教育の充実発展のために頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○宮本教育長 ありがとうございます。

それでは、日程第1、業務報告及び行事予定に入ります。

業務報告及び行事予定のうち、重要な項目がありましたら、順次報告をお願いいたします。

○井上庶務課長 教育長、庶務課長。庶務課に関わる業務報告及び行事予定について御報告をいたします。議案集1ページを御覧ください。

まず、業務報告でございますが、記載のとおりでございます。

続いて、行事予定でございますが、明日7月25日に教育委員会事務点検評価学識経験者会議を開催いたします。教育委員会では法律に基づいて、毎年教育に関する事務の管理及び執行の状況について報告書を作成しております。明日の学識経験者会議では、3人の学識経験者の方から報告書の内容について御指摘や御意見をいただき、その後、内容を整理してまいります。

なお、当該報告書については、次回の8月21日の教育委員会定例会に議案として提出する予定としております。

簡単ではございますが、庶務課からは以上でございます。

○村上生涯学習課長 教育長、生涯学習課長。生涯学習課の業務報告及び行事予定について御報告いたします。2ページを御覧ください。

まず、業務報告ですが、6月28日におのみち市民大学・家庭教育支援講座「おやこのための夏の音楽と星空観察会」を市役所本庁で開催しました。121名の参加があり、毎回人気の講座で、前半の音楽の演奏やハンドベル体験、またアンコールでのダンスミュージックなど、選曲も子供たちから大人まで幅広く楽しめるものとなっていました。続く星の解説については、夏の大三角を中心に星座のいわれなどの話があり、屋上で観察しながら、親子で星について話す姿もありました。

その他の業務報告については記載のとおりでございます。

次に、行事予定ですが、7月27日にマリン・ユース・センターでマリンフェスタを開催します。小学生以下の子供と保護者を対象に、SUP、カヤックなどマリンスポーツ体験を実施します。

その他の行事予定については記載のとおりです。

続いて、図書館について、指定管理者から報告のあった事業の報告をいたします。

3ページは中央図書館です。業務報告ですが、7月21日に夏休み読書感想文講座が開催され、学校司書の方から本の紹介や感想文の書き方のコツなどを分かりやすく教えていただきました。

その他業務報告、行事予定につきましては記載のとおりでございます。

4ページを御覧ください。みつぎ子ども図書館です。

業務報告ですが、7月の図書展示として、夏休みの宿題に困ったら、これらの本を参考に見ませんかということで、「課題図書」「自由研究」の本を集めましたとのことでございます。

その他業務報告、行事予定については記載のとおりでございます。

5ページを御覧ください。因島図書館です。

業務報告ですが、7月の図書展示として、一般展示は、戦争の悲惨さを知り、平和について考えましようということで「戦後80年。伝えてゆくこと。」、児童展示は、宿題や遊びなどに役立つ本ということで「夏休み特集」を展示しています。

その他業務報告、行事予定については記載のとおりです。

6ページを御覧ください。瀬戸田図書館です。

業務報告ですが、7月の館内展示として「夏をおうえん（読書編・自由研究編）」に関する資料ということで、夏の読書感想文や自由研究にお勧めの本を

集めましたとのことをございます。

その他の業務報告、行事予定については記載のとおりでございます。

7ページを御覧ください。向島子ども図書館です。

業務報告ですが、7月の展示として、メイン展示は、「夏休みの宿題応援特集 自由研究・工作」ということで、自由研究や工作に役立つ本を、ミニ展示は、「夏休み 読書で広がる世界 課題図書・読書感想文」ということで、読書感想文コンクールの課題図書を集めましたとのことをございます。

その他の業務報告、行事予定については記載のとおりでございます。

以上で図書館の業務報告を終わります。

○**榎原因島瀬戸田地域教育課長** 教育長、因島瀬戸田地域教育課長。因島瀬戸田地域教育課の業務報告並びに行事予定について御説明いたします。議案集8ページをお開きください。

初めに、業務報告です。7月17日、因北小学校教室等改修工事設計業務委託の入札を行い、委託業者が決定いたしました。本日の午前中になりますが、委託業者と建築課、当課の職員による第1回キックオフミーティングを因島総合支所にて開催いたしました。来週以降、現地確認に入るということをございますので、学校と日程調整を行っていきたいというふうに考えております。

7月24日、こちら本日の午前中になりますが、因島地域小中学校特定建築物定期調査業務委託の開札を行いました。こちらの入札については7月8日に入札を実施いたしました。が、予定価格超過により不調となっておりますので、再入札を実施したものでございます。本日の入札では落札となりましたので、委託業者が決定しております。

続いて、行事予定でございます。上から4行目、因北小学校特別教室机移設及びキュービクル改修業務でございます。こちらの業務は因北小学校の理科室と調理室の古くなった机を撤去し、旧土堂小学校の仮設校舎の中にあつた机と入れ替える業務でございます。併せてキュービクルの改修も行います。因北小学校については、教室の改修等の設計に着手しておりますが、特別教室の机の整備は計画にございませぬ。今年度に入って仮設校舎に設置してあつた机を再利用できるというお話がありまして、庶務課と協議の結果、学校再編を控えている因北小学校へ移設することとなりました。新品ではありませんが、比較的新しい机を特別教室に設置できることになり、因北小学校の特別教室の整備を充実させることができるものと考えております。予定としては夏季休業中の施工を目指し、現在準備を進めております。

以上、報告とさせていただきます。

○**福田美術館長** 教育長、美術館長。美術館の業務報告並びに行事予定の御説明をいたします。議案集9ページを御覧ください。

市立美術館と圓鏢勝三彫刻美術館は、先月と同じ業務内容です。

平山郁夫美術館では、7月3日木曜日から、原爆投下80年 日常とその破壊ー平山郁夫が描いた日常と土田ヒロミ「ヒロシマ・コレクション」ーを開催中です。

7月20日日曜日から11月16日日曜日まで、尾道市美術館ネットワークが特別企画として、ミッション・イン・ミュージアム2025を開催します。尾道市美術館ネットワークは、市内の6つの美術館及び博物館で構成されています。各館において独自のイベントを開催し、多彩な芸術に触れながら体験型ワークショップやプログラムを楽しんでいただける企画となっています。昨年度は夏休み期間中でしたが、今年度は本館の休館があり、秋季特別展の企画に合わせ、期間が長くなっております。

続きまして、行事予定でございますが、市立美術館では9月10日水曜日から開催する第69回尾道市美術展に向けての準備が始まります。8月8日、9日に作品を受け付け、20日に審査会を開催いたします。

その他につきましては記載のとおりでございます。美術館からは以上です。

○**安保学校経営企画課長** 教育長、学校経営企画課長。学校経営企画課に係る業務報告並びに行事予定について御報告いたします。10ページを御覧ください。

まず、業務報告についてですが、7月2日、第1回尾道市立中学校における部活動の在り方に関する検討委員会を行いました。事務局から昨年度の取組のまとめの報告を行い、本年度の取組や尾道市部活動地域展開推進計画について協議を行いました。

また、昨年度1月末から2月にかけて向島で公民館活動の体験会を実施しましたが、本年度は地域クラブ活動 in 因島と題して、夏季休業中の土曜日、日曜日に実施している因島地域の公民館活動の体験会を実施いたします。

7月3日、小中学校校長会を行いました。

広島県東部教育事務所の全校訪問は7月9日までに全小中学校の訪問を終えております。

7月11日、第3回スクールリーダー育成研修を行いました。昨年度、本研修に参加した西藤小学校の青木啓介教諭が所属校での実践について発表を行いました。

7月14日、第1回市町教育委員会教育長ミーティングを行いました。県教育委員会からは、篠田教育長、重森乳幼児教育・生涯学習担当部長兼参与らをお

迎えし、重井小学校の視察を行うとともに、市教育委員会からの施策説明と意見交換を行いました。県教育委員会からは、安心して学ぶことのできる学習環境が整っていることを評価していただきました。

今後の行事予定については記載のとおりです。

記載にはありませんが、夏季休業を利用して全ての小中学校を対象に尾道市教育委員会による学校訪問を行います。訪問ではサービス関係の諸帳簿や指導要録等の児童生徒に関わる諸帳簿、会計簿や関係書類の点検と校長からのサービス管理等についての聞き取りを行います。法令・法規等に則った適正な学校運営を行うよう、必要に応じて直接指導・助言を行います。また、市内全体の状況や取組の好事例は校長会議等で報告し、各学校での取組に生かしていけるようにしていきます。

続いて、重井小中学校と因北小中学校の学校再編についてですが、7月10日に第2回因北中学校区小中一貫教育校準備委員会を重井公民館で行いました。第1回準備委員会以降の進捗状況の報告と、総務等検討部会、生徒指導等検討部会、教育課程等検討部会から各部会の進捗状況と今後の予定について報告がありました。準備委員会から各部会への検討依頼があり、生徒指導等検討部会は学校規定品の検討と通学路の合同点検の実施について。教育課程等検討部会は、令和7年度に実施する児童間交流の内容や時期、小中一貫教育校の資質能力について検討していくこととなります。今後の予定としましては、第3回準備委員会を9月26日金曜日に開催する予定としております。以上でございます。

○金子教育指導課長 教育長、教育指導課長。教育指導課に係る業務報告並びに行事予定について御報告いたします。議案集11ページを御覧ください。

まず、業務報告です。6月30日にICT活用指導力向上研修会を実施しました。市内の小・中・高から各校1人参加し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた1人1台端末の活用に向けての講義を行った後、先生方に1人1台端末の活用アイデア例の作成をしていただきました。また業者の方にお越しいただき、eライブラリやネットモラルの活用に向けて新機能や内容を紹介していただきました。

7月10日と11日にかけて、台湾金門縣小学校との交流を行いました。予定では8日に歓迎会を行い、9日から3日間、各校での交流を予定しておりましたが、台風の影響で到着が遅れたため、今年度は2日間、4校での交流となりました。台湾金門縣の小学校から40人の児童が尾道市に来られ、4校の小学校に台湾金門縣の小学生が10人程度に分かれて訪問し、英語でお互いの国や文化の

紹介をしたり、英語で積極的にコミュニケーションを図ってる姿が見られ、貴重な経験の場になりました。

7月16日に第2回尾道市教育支援センター自然体験活動を福山少年自然の家で行いました。児童生徒の参加11人、保護者5人を含め、総勢26人が参加しました。仲間づくりのウォーミングアップでは少し緊張ぎみでしたが、屋外での炊事場でのホットドック作りや壁かけ作り、最後の仲間づくりの活動ではみんな活動を行い、1日で距離の縮まった様子も見られました。楽しかった、自分なりに頑張れた、協力することができたと感じる体験となりました。

7月18日に第2回目の特別支援教育支援員・看護師研修会をオンラインで行いました。児童発達支援センター向島あづみから神原相談支援専門員を講師として招聘し、個に応じた記録について演習を交えながら研修を行いました。

7月22日に第4回尾道市教育相談連絡協議会を行いました。今回は教育支援センター相談員と市のスクールソーシャルワーカーの皆様から近況報告を行っていただいた後、小泉病院の杉江院長から不登校支援に係り、発達特性をもつ子供たちや保護者への関わり方などについて御講話をいただきました。

7月23日におのみち作業検定の1回目を、午前中は尾道特別支援学校で、午後からはしまなみ分校において実施しました。参加者は尾道特別支援学校、しまなみ分校の生徒と、尾道市内の中学校6校から16人の生徒が参加し、清掃や接客部門を受験しました。

本日7月24日には尾道小学校教育研究会の教科部会を実施しています。2学期以降に実施する授業研究に向けての学習指導案検討や、生活総合部会では、浄土寺の小林住職を講師として招聘し、尾道名誉市民1号である平山角左衛門の功績を学ぶといった研修を実施したり、家庭科部会では尾道の特産物や郷土料理について、尾道市農林水産課職員から学ぶ研修を実施したりしております。今後、社会科部会では水道記念館の見学もされると聞いておりますので、今年度から実施している「グローバル・ローカル・尾道らしさ」を推進する授業（ローカル編）を意識した研修を教育研究会でも実施していただいております。

次に、行事予定です。行事については御覧いただいているとおりでございます。

8月1日に尾道市中学校リーダー研修会を尾道市役所で実施いたします。今年度は先日、平谷市長からオンラインではありましたが、「中学生の『御機嫌な尾道プロジェクト』として、新たな尾道の食のストーリーを提案してほしい」という熱いメッセージをいただきましたので、各校で考えた尾道パスタの

レシピ発表などを行う予定としております。

また、8月2日には中学生を対象としたイングリッシュ・ディ・尾道、これを市民センターむかいしまで行います。昨年度初めて開催し、29人の生徒が参加しましたが、今年度は49人の申込みがあります。ALTと連携し、英語でのコミュニケーションの楽しさをしっかりと体感してもらえる内容を企画・検討してるところでございます。以上でございます。

○宮本教育長 ただいまの報告につきまして御意見、御質問はありませんか。

村上正則委員。

○村上（正）委員 村上です。生涯学習課で電子メディア対策講座をやっておられるんですけど、事業概要について報告していただければと思います。

それと、学校経営企画課の重井小学校と人権文化センターでやられた教育長ミーティングの状況というか、雰囲気というか、ちょっと教えていただければと思います。

それとあと1点、教育指導課に、夏休みが40日ほどあるんですけども、子供たちの学習状況というか、学習計画をどのようにしているのか。去年も多分質問したと思うんですけども、もう全く全然関与していないのか、もう全部学校任せというか、担任任せになってるのか、ここら辺で全然してない子としてる子が差がつくところだと思うので、そこら辺が分かれば教えてください。

○村上生涯学習課長 教育長、生涯学習課長。電子メディアの事業についてでございますけれども、近年、SNSの利用の仕方というところでいろいろなトラブルがあるというところを踏まえまして、広島県とも連携をしながら講師のほうを派遣していただいて、手挙げ式で学校のほうに希望を取って派遣をして、授業の中で講師の先生に講話をいただくといったような内容で開催をしております。簡単ですが以上でございます。

○村上（正）委員 はい、分かりました。

○安保学校経営企画課長 教育長、学校経営企画課長。教育長ミーティングの状況や雰囲気についてでございますが、まず重井小学校のほうに訪問をいたしました。県の教育長ほか、県教委から学校には8人、教育委員会からも参加させていただきました。学校の取組を報告していただき、その後、1時間、授業を見て回りました。その後の意見交換では、先ほども報告したんですけども、学習環境がしっかり整っているということについては評価していただきました。授業については目当てを明確にすることですとか、少人数であることよきをもっと生かして児童同士の関わりを増やすこと、タブレット端末のより効果的な活用については御指導をいただいております。

その後、会場を移動しまして、教育委員会としての施策の説明をしました。その中からは、尾道みなと中学校区の学校が統合して、その後の様子はどうかですとか、コミュニティ・スクールで困っていることはないか等について御意見等、質問をいただいております。以上です。

○金子教育指導課長 教育長、教育指導課長。夏休みについての学習状況や計画のことでございますけれども、教育委員会として一律に何かこれというような指導はしておりませんが、昨年度、学校からどのような指導をしているのかという資料の提出をしていただきました。その中には事前にきちんと学習計画を立てて、いついつまでにこれをしましょう、これをしましょうというようなところ、発達段階に応じて学校がきちんとお示しされておりました。計画に基づいて、様々工夫した学習が継続してできるような、そういう取組をしっかりと学校がしていただいているという状況でございました。ですので、今年度も同様にそれぞれ学校が子供たちに資料を提示しながら、夏休みに入る前にきちんと指導を行って取り組んでいると思います。以上です。

○村上（正）委員 分かりました。ありがとうございます。

○宮本教育長 ほかにありませんか。

奥田委員。

○奥田委員 教育指導課に2点お伺いしたいと思います。

最初は台湾金門縣の小学校との交流の件ですが、2日間で40名の生徒が来て、4校での交流があったということで、4校というのは具体的にどういう学校であったのかという点と。2年置き、毎年ですかね、来られているようなので、この訪問する学校がローテーション的に幅広く広がっているのか、子供たちにとってはいい機会だと思いますので、計画的に訪問の学校を進めておられるのかというのが1点目です。

2点目は、イングリッシュ・ディについてですが、これは中学生対象でしたかね。昨年度、いい取組だけれども、29名しか申込みがないのかということでちょっと質問させてもらいましたが、今年度は49名ということで広がっているということはいいいことじゃないかと思います。今後どういう形で、より多くの中学生が英語を話す楽しみをこういうところで理解して、それが学ぶモチベーションになればいいと思いますが、さらに参加者が増えていくためにはととか、どういうふうな体制で進めようと考えているのか、その辺の見通しもちょっと説明いただければと思います。お願いします。

○金子教育指導課長 教育長、教育指導課長。まず1つ目の金門縣の学校との交流ですけれども、今年度はあいにく台風の関係で、予定では8校としておりま

したけれども、実際交流できたところは4校でございます。栗原小学校、高見小学校、美木原小学校、栗原北小学校、この4校が交流できております。残念ながらできなかった学校が、山波小学校、日比崎小学校、高須小学校、三成小学校、これも準備はしてくださっていたんですけども、交流ができておりません。

また、学校については、市教委のほうからどうですかということではなく、希望があった学校にできるだけ交流していただくようにと考えております。令和5年度が6校、令和6年7校、令和7年、今年度が8校ということで少しずつ広がっておりますし、新しい学校も増えてきておりますので、今、学校のほうでもグローバル教育ということで海外との交流を進めておりますので、各学校においてもこのような機会を積極的に捉えて、交流しようと思っている学校が増えてきております。

2つ目の質問です。「イングリッシュ・デイ・尾道」についてです。昨年度29人、今年度49人と増えておりますし、応募の学校も増えてきているところです。イングリッシュ・デイ、しっかりと子供たちが楽しんで英語に触れるというようなところを充実したものにしていきたいなと思っています。

昨年度参加したお子さんが、とても楽しかったということで、引き続いて今年も申し込んでいるというような継続した申込みもありますので、また広がっていくのではないかなと思っています。

体制といたしましては、今年度は市内のALT、そしてお隣の府中市からも少し協力依頼をしましたところ、快く何人か、行きますということをお答えいただきましたので、子供の参加の人数が増えたら、尾道市内のALT、それから近隣の市町のALTにも協力いただきながら進めていきたいなと思っています。

また、各学校でもイングリッシュ・デイを今年は全校実施していただけますので、市だけではなくて、学校でもイングリッシュ・デイが広がって、日常の中で子供たちがしっかりと英語に触れる機会が創出できたらと思って取組を進めております。以上です。

○**奥田委員** はい、分かりました。

○**宮本教育長** ほかにありませんか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○**宮本教育長** ないようですので、日程第1、業務報告及び行事予定を終わります。

次に、日程第2、議案の審査に入ります。

議案第33号尾道市スポーツ推進委員の解嘱及び委嘱についてを議題といたします。提案理由の説明をお願いします。

○村上生涯学習課長 教育長、生涯学習課長。議案第33号尾道市スポーツ推進委員の解嘱及び委嘱について御説明いたします。12ページを御覧ください。

本議案は、尾道市スポーツ推進委員の辞職願の提出に伴い、後任の委員の委嘱をお願いするものでございます。

スポーツ推進委員は、生涯スポーツの普及を目指し、地域においてスポーツの技術指導を行っていただいている方ございまして、学校や公民館などでボッチャなどの普及や体力測定の実施、また教育委員会が行うスポーツ行事の運営のお手伝いをさせていただいております。

13ページを御覧ください。因島体育協会から選出されていた木下恵子氏から辞職願の提出があり、後任として藤岡則子氏を新たに委嘱しようとするものでございます。

新たな委員の任期は、本年8月1日から令和9年3月31日まででございます。

14、15ページに変更後の委員名簿をおつけしておりまして、15ページの表の一番下の男女の内訳でございますが、改選後は男性47名、女性18名で平均年齢が61.5歳、女性比率は27.7%となります。

以上、御審議の上、御承認をいただきますよう、よろしく願いいたします。

○宮本教育長 ただいまの説明につきまして、御意見、御質問はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 ないようですので、これより議案第33号を採決いたします。

本案は原案のとおり承認することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 御異議なしと認め、本案は全会一致で原案のとおり承認することに決しました。

以上で日程第2、議案の審査を終わります。

その他といたしまして、委員の皆様から何か御意見等はございませんか。

村上正則委員。

○村上（正）委員 村上です。せんだって中学校の学力定着調査の資料を頂いたんですけども、実はちょっと以前のも見てみると、平成31年に実施した標準学力調査の結果を見ると、点数がいい学校が299点で、悪いというか、あまり点数取れてないところが211点。211点のところはいいところの70%しか点が取れ

てないと。それからずっと令和元年が75%、ちょっとよくなったんです、差が縮まった。令和2年が69.6、ほぼ70%。令和3年が73%でかなりいい線いくかなと。令和4年が72.2%でまあまあ我慢できるかなというようなところで、令和5年になると67.6%しか点が取れてないと、いいところが100としたら。令和7年が66.2%。ずんずん開いてるんですよね。だから学校間格差が開いてるんじゃないかなと私は思うんですけども。

それについて、これはどこ行っても、ある程度の教育の質は保障されてるんじゃないかなと保護者の皆さん思ってると思うんですよ。というのは、世の中、例えば同じ銀行の尾道支店と因島支店で預金を預けて、尾道支店は1万円の利息がついたよ、でも因島支店は6,600円しかつかなかったよと言ったら怒りますよね。それとスーパーやなんかでも、スーパーで因島の支店で買うと、同じ商品なのに6割何分か7割ぐらいしか中身がなかったよということになったら、それは普通だったら大問題だと思うんです。

これって何か今までも何回も学校間格差のことについては、学力面だけですけども、何度か質問して、頑張りますぐらいしかお返事いただけなかったんですけども。今日返事をしてくれということじゃないんですよ。急に質問されても困るでしょうから、次の会までぐらいでいいですから、どのようにするのか。これから、要は令和5年から令和7年、下がってるんです、下がってるというか開いてるんですよね。だからこれの是正するにはどうするのかを数値目標を挙げて、次は絶対に戻しますとか、最終的には8割ぐらいまで戻します。次の学力テストのときは7割に、7割といっても令和元年、75%ですね、平成31年が70%なんで。令和元年並みには戻しますというふうなのをちょっと教えてほしいんです。目標も何もなかったら、目標は何もないです結構ですんで、それを教えてほしいと思っております。

これって結局、ずっと開いていっても責任は誰も取らないんですかね。例えば3年前に安倍元首相が暗殺されたときに、奈良県警の本部長は辞めて、ずっと下の警備課長とか、そういった人らも懲戒処分を受けてるんですよね。それは治安責任があるから。学力責任は教育委員会とか学校にないのならなくていいんですけど、ないから、それは個人の努力が足りんのですでいいんだけど、そういったのをちょっと私は学力に対する責任は学校にあるんじゃないかなと思うんですけども。今日はお返事は結構なんで、次回よろしくお願ひ。具体的に数値を挙げてお返事いただければと思います。よろしくお願ひします。以上です。

○宮本教育長 ほかにありませんか。

奥田委員。

○**奥田委員** 手元に英検 I B Aの結果という資料を頂いてますが、これ、説明があるんでしたかね。前回、英語のほうの取組はどうなってますかということでのこの回答の用紙だったと思いますので、また説明いただければと思います。

○**宮本教育長** 今説明できますか。

○**金子教育指導課長** 教育長、教育指導課長。前回いただいた宿題で英検 I B Aの結果でございますけれども、英検 I B Aとは英語検定の過去問題の中から英語力をより客観的に測定できる問題を集めたもので、旧英語能力判定テストのフィードバックがより充実したテストで、C E F Rに対抗したスコアで英語力を測定するものでございます。

令和4年度までは尾道市が独自に実施しておりましたが、令和5年度からは広島県が県内一斉に実施しております。結果については県全体のスコアはなく、尾道市の結果のみが届いております。令和6年度の全体的な傾向としては、読解力が十分ついていないこと、語彙、熟語、文法の正答率が低下していることが課題であると捉えています。また、英検3級レベルの英語力のある市内中学3年生の割合も令和6年度は51.6%と下がっておりますので、引き続き英語の授業改善を図っていくとともに、英語の授業だけではなく、日常的に英語に触れる機会を多くつくり、英語力の向上を目指していきたいと考えております。以上です。

○**宮本教育長** 奥田委員。

○**奥田委員** この資料を見させていただくと、1年生は前年度よりもアップしてますね。いわゆるこれは小学校の英語教育も順調にしているということの証ではないかなというふうに思いました。

ただ、2年生、これ実際、中学校の英語は本格的に中学校で学ばれるようになったときの2年生。それから3年生は令和6年度の試験では、共にいろんな分野のところは正解率が下がり、学力が落ちているように思います。そのの、どうして令和5年度と比べて令和6年度のそれぞれ2年生、3年生は下がったのかというところの具体的な分析を聞かせてほしいと思うんです。先ほど幾らか説明をされましたけど、何が一番原因なのかと。英語に対する学習時間が減ってるのか、何か見えて、子供たちの動き、学校の動きを見ていて、こういうところに原因があるんじゃないかとかというところを、分析を聞かせていただきたいと思います。国際化と言われる中で英語の果たす役割というのは大きいと思いますので、その辺の具体的な分析を聞かせていただければと思います。お願いします。

○金子教育指導課長 教育長、教育指導課長。先日、文部科学省から、生徒の英語力に影響を与える諸要素というものが示されました。その中に生徒の英語による言語活動、教師の英語使用、英語力、そしてALTによる授業外の活動、これらが生徒の英語力に影響を与える大きいところであるというふうに示されています。

その点で見ますと、本市の授業のところでございますが、教師の英語使用率、これは上昇傾向にはありますけれども、実際の授業の中で生徒が英語を実際に使って言語活動している割合という数値は昨年、一昨年と比べたときに下がっておりましたので、実際に先生が授業をデザインするときには目的をしっかりと持って英語での言語活動で授業を行うというような授業改善が十分できていないというところが1つあるのではないかと考えています。

また、ALTによる授業外の活動というところも大きく出ていますので、昨年度からALTを授業の中で積極的に活用するという事は伝えておりますけれども、まだ中学校では十分活用し切れていないところもあると思いますので、しっかりとALTが授業の中に入っていき、或いは授業以外のところでも訪問したときにしっかりと参画する時間数を増やしていきたいというように思っています。

また、2年生、3年生になるときに語彙指導、或いは熟語、文法の指導をするときにも、英語を使いながら子供が理解できる場所で言語活動を通しながら指導ができる、そのような先生方の指導力というところもしっかり向上していかないといけないと今、捉えているところです。

英語の担当指導主事が昨年度から今年度も各校へ頻繁に学校訪問で指導に行っておりますので、直接指導しながら授業改善に努めてまいりたいと思っております。以上です。

○宮本教育長 奥田委員。

○奥田委員 令和6年度、英語力が下がったということの具体的な説明をいただいたというふうに思います。そういう分析ができておるのであれば、実際に英語を活動する、授業の中で英語活動が減っているとか、そういう事実があるということであれば、それをどういう形でそう下がらないように、さらに英語力アップするようにしていこうとしているのか。1点目は、英語の指導主事が各学校へ行ってそういう内容を指導しますというのがありました。もう少しその他で校長会の中でもそういう話をするとか、具体的にどういう形でその抱える課題として学校現場に伝えていくのかというところをお聞きしたいと思うんですが、お願いします。

○金子教育指導課長 教育長、教育指導課長。このような実態のところについては、校長会でも実際の数値を出しながら授業改善のほうのお願いもしております。また、先日小学校外国語研修、・授業力向上研修会（英語）において、英語の担当の先生を集めた研修をいたしました。その中でも実際に目指すべき言語活動を通した学びについて文部科学省が出しているDVDを使いながら、具体的な授業イメージを持っていただくような研修もしております。また引き続いて、ミニ研修という研修会を担当指導主事が計画的に何度か今年度、入れていく予定もしておりますので、英語の担当の先生方が授業について学ぶ場というところを年間通して継続的に入れていきたいと思っております。以上です。

○奥田委員 よろしく申し上げます。

○宮本教育長 ほかにいかがでしょうか。

濱本委員。

○濱本委員 失礼します。今の英語力の部分で、文科省の調査のところで行くと、教師の授業力、英語力が高い学校ほど高い生徒の割合は高いと、まあ当たり前のことなんですけれども。その辺りで今、ICTとか、県はモデル校で生成AIを活用した授業づくりをしていくとかいうようなところで話されていましたが、尾道市のほうではその辺りのモデル校ではないですけれども、何かそういうような先生方の授業力、授業改善といってもなかなか難しいところもあると思うのですが、何かそういうようなICTの活用であるとか、そんなところでというようなところは思われていることがありますか。

○金子教育指導課長 教育長、教育指導課長。ICTの活用については、英語だけではなく、先日、ICT活用指導力向上研修会というものを実施いたしましたので、その中でいろいろな授業の中でICTをどのように効果的に使うと学びが深まるかというような、そういうようなところを担当の先生方を集めながら研修をしました。研修では、研修での学びを各校へ還元していただくために、研修で考えていただいた実践例をクラスルームの中でたくさん紹介できるようにしました。そのクラスルームはどの先生も見ることができるようになっておりますので、それらもしっかり活用して、ICTを使った授業改善ということを伝えているところです。英語についても、ICTをしっかり活用するということは指導しているところです。

また、モデル校ということでありましたら、尾道市の中でも市の指定ということで英語に取り組んでいただいている学校もありますので、そういうところを中心に授業改善に努めていきたいと思っております。

また、県の指定においても、英語に関しては幾つか指定もいただいております

ので、そういう核となる学校を中心に学びを広げていきたいと考えております。以上です。

○濱本委員 ありがとうございます。

○宮本教育長 よろしいですか。

○濱本委員 はい。

○宮本教育長 ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、ないようですので、以上をもって本日の日程を終了いたします。

これをもって本日の会議を散会すると同時に、第9回教育委員会定例会を閉会いたします。

なお、次回の定例教育委員会は8月21日木曜日、午後3時からを予定しております。お疲れさまでした。

午後3時20分 閉会